

# AIDS UPDATE

No.99 2010.3.15

広島大学病院 エイズ医療対策室 内線5351/5581(輸血部長室)  
Internet:www.aids-chushi.or.jp

ここまでできた！

平成21年度広島大学教職員向け  
エイズ講演会

## 広島大学病院エイズケア

高田昇診療教授が今年度で退職の為、最後の講演会となります。  
皆さまお誘い合わせの上、是非ご参加ください。

日時: 3月25日(木) 17:30 - 19:00

場所: 広島大学医学部 第4講義室



1. 「薬がない頃のカウンセリングの実情」

兒玉憲一 教授(広島大学大学院教育学研究科)



2. 「エイズ看護ワーキンググループの成り立ちと活動」

下川直美 副看護師長(看護部)



3. 「広島大学病院のエイズの歴史と今後」

高田 昇 診療教授(輸血部・エイズ医療対策室)

職員の方は、職員証により受付を行いますので、必ず職員証をお持ち下さい。  
職員以外の方も大歓迎です。事前申込みは必要ございません。

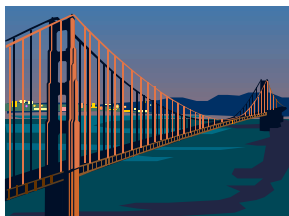
主催: 広島大学病院感染症対策委員会、広島大学病院エイズ医療対策室

## ご報告

# 「エイズ拠点病院医療従事者海外実地研修報告」

## 9階西病棟 看護師 藤井 恵子

今回、1月16日～31日までアメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコ市でエイズ拠点病院医療従事者海外実地研修がありました。海外に一度しか行ったことがなく、英語が話せない私にとって、2週間の滞在は想像が付きませんでした。



今回は全国から6名が受講し、拠点病院である新潟県立新発田病院1名、石川県立中央病院1名、国際医療センター2名、広島大学病院2名の参加でした。

研修内容は以下の通りです。

### 1. ワークショップおよび講義内容

- 1) サンフランシスコのエイズケアシステム
- 2) ヒューマンセクシャリティー
- 3) エイズ101
- 4) 援助的コミュニケーションのスキル
- 5) 日本の看護vsアメリカの看護
- 6) HIVと倫理問題
- 7) HIVをとりまく心理問題

### 2. 医療機関実地研修

カイザー・パーマネンテ病院  
「HIV外来でのチーム医療」

### 3. 訪問研修「女性とHIV」

オークランドワールド団体

### 4. アクションプラン作成と発表



そのなかでも印象に残ったものを挙げて報告いたします。

## < ヒューマンセクシャリティーについて >

ヒューマンセクシャリティーについて学習し、性的指向について学習しました。社会では、異性愛が多数派であり、いまだに同性愛や両性愛に偏見や差別が残っていることを知りました。

日本の性教育では、体の仕組みや避妊の方法が主に行われ、セクシャリティーを理解する機会がないのが現状です。世界にはいろんな人種がいるように、性的指向も多様であることを理解しました。

実際、同性愛者が住みやすいといわれているカストロ通りへ行きました。レインボーフラッグがはためき、男性同士がキスをしたり、ハグをしたりする場面を目にしましたが自然体で、私の中で異性愛と同性愛で何か違うものがあるのかな？と感じました。



## < 医療機関実地研修 >



医療機関実地研修では、カイザー・パーマネンテ病院のHIV外来の実際を知ることができました。

カイザー・パーマネンテ病院では、現在900名を超えるHIV/AIDS患者を抱えており、チーム間で連携を図りながら、患者サポートが行われていました。

外来は医師、看護師兼ケースマネージャー、ソーシャルワーカー、薬剤師、栄養士が専属で位置づけられており、そこには各職種の専門性の高さ、対人・コミュニケーションスキルの高さを感じました。

実際、ソーシャルワーカーが介入する場面に同席しましたが、どの場面でも、患者が主体であり、最終決定は患者自身に任されていました。まず医療者は、肯定や否定をせず、患者の気持ちに寄り添い、要求の内容を整理しながら、支援できることと出来ないことを患者に伝えていました。

### <ロールプレイでの実践>

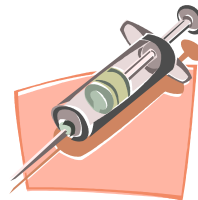
ロールプレイでは、対人・コミュニケーションスキルについて学習し、初診患者の問診場面の設定で、患者役と看護師役を交互に行いました。

実際、現場で患者とソーシャルワーカーのやりとりをみていたので、私にも出来るだろうと思いました。



しかし、実際にやってみると難しく、患者の気持ちを引き出せるどころか、話が途中で止まってしまい気まず

い空気が流れました。トレーニングを重ね、対人スキルが習得できれば、アプローチに幅が出てくることを学びました。



日本では考えられない現実を突きつけられ、衝撃と驚きで言葉を失いました。

特にアメリカでは、HIV陽性者の背景には、注射器や針の使い回しやドラッグの常習者が多く、HIV感染の増加につながっていることがわかりました。

### <最後に>

当院もHIV/AIDS患者は年々増加しており、感染経路や病状は様々で、近年、日和見感染症であるニューモシスチス肺炎や悪性リンパ腫を罹患しAIDS発症で入院してくる患者が増えています。

前号で高田先生が報告されていましたが、現在、当院で診察中の患者は101人であり、毎月2名の新規患者が外来に受診されています。今後もHIV/AIDS患者の理解を深め、今回の学びを日々の看護実践に生かしていきたいです。

サンフランシスコに滞在中は、ほとんど雨で傘が手放せない状況でしたが、研修を終えて、私の心は「ハレルヤ」の気分でした。今回、このような研修の機会をいただき、ありがとうございました。研修関係者の皆様に感謝致します。



### <日本とアメリカの違い>

下記の写真は、実際デパートのトイレに設置してあったものです。



(正面)



(上から)

バイオハザードマークが表示されており、医療廃棄物専用のBOXでした。入り口は手の入らない大きさになっており、注射器や針が入っていました。

アメリカではドラッグ常習者が多く、密室になっているトイレなどで静注する人が多いため、他者への二次感染予防の目的で設置していることを聞きました。

### <ご意見募集>

ご意見やご希望がございましたら、  
エイズ医療対策室(5351/5581)まで  
お寄せください。

# 平成22年度 中国四国ブロックHIV研修スケジュール

お問い合わせ: 広島大学病院 エイズ医療対策室  
TEL & FAX: 082-257-5351 (直通)  
<http://www.aids-chushi.or.jp/>  
出前研修については、随時ご相談ください。

## 医師

平成22年12月5日(日)  
第4回 医師のためのエイズ診療従事者研修  
広島大学病院(広島市)

平成22年9月27日(月)・28日(火)  
第19回 看護師のためのエイズ診療従事者研修

平成22年10月18日(月)・19日(火)  
第20回 看護師のためのエイズ診療従事者研修

平成23年1月22日(土)  
第6回 看護師のためのエイズ診療従事者研修  
アドバンストコース  
全て広島大学病院(広島市)にて実施

## 看護師

## 薬剤師

平成22年7月31日(土)・8月1日(日)  
第25回 抗HIV薬服薬指導のための研修会  
ひろしま国際ホテル(広島市)

平成23年1月8日(土)・9日(日)  
第26回 抗HIV薬服薬指導のための研修会  
ひろしま国際ホテル(広島市)

平成22年7月31日(土)・8月1日(日)  
平成22年度 第1回HIV/AIDS専門カウンセラー研修会  
ひろしま国際ホテル(広島市)

平成23年1月8日(土)・9日(日)  
平成22年度 第2回HIV/AIDS専門カウンセラー研修会  
ひろしま国際ホテル(広島市)

## 心理職 福祉職

## ソーシャル ワーカー

平成22年10月2日(土)・3日(日)  
第6回HIV/AIDSソーシャルワーカー・ネットワーク会議  
三原国際ホテル・県立広島大学(三原市)